

# 学校だより



平成30年10月31日

11月号

横浜市立美しが丘東小学校  
学校長 井上 由美子

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/es/utsukusigaokahigashi/>

## あいさつ

副校長 安村 宏晃

「おはようございます。右見て、左見て、信号見て、安全を確認してわたりましょう。」朝、学校下の信号のところで子どもたちにかけている言葉です。朝、8時頃から信号での安全指導を行っています。うるさいなと思われる方もいるかもしれません。朝の「おはようございます。」に対する子どもたちの反応は様々で、目の前まで来て、お辞儀をしながら「おはようございます。」と丁寧にあいさつする子、目だけ合わせて過ぎ去る子、顔も上げずに通り過ぎる子、会釈をしていく子、遠くから大きな声で「おはようございます。」と言いながらわたっていく子、声は小さいけれど目を見て挨拶する子など、いろいろな挨拶を見せてくれます。一番多いのは、会釈だけして黙って通り過ぎていく子なのかなと感じています。

先日、朝会で子どもたちに、「あいさつ」の話をしました。最初に「今日、朝起きてお父さんやお母さんにおはようと声をかけた人」と聞いてみました。学年が上がるにしたがって挙げた手の数が少なくなっているように感じました。朝起きた時に顔を合わせての「おはよう」から子どもたちのどんなことが分かるでしょうか。保護者の皆様は、きっとこの一言からお子様のことを察していることと思います。

朝会では、「あいさつ」には、「自分が今どんな状態かを伝えること」と『あいて』のことを『さつする』、相手を思いやること』の2つの面があるということをお話しました。黙って通り過ぎて行かれると大丈夫かなとちょっと心配になることがあります。そして、「これからは一人一人がイメージする理想的なあいさつをしてみてください」と話を締めくくりました。話をした日、「こんにちは」の声がいつもより大きくなったかなと感じました。翌日の朝の「おはようございます。」の声も少し大きく元気になったかなと感じました。話を聞いてやってみようを思ってくれた子どもがたくさんいてうれしくなりました。

同じ朝会の中で、児童の代表から横浜こども会議 美しが丘中学校ブロック会議で、お互いに思いやりをもって仲良くするためにはあいさつが大事ということが話し合われたことが報告されました。美しが丘東小学校での企画委員会を中心となって行っている朝の「あいさつ運動」のやり方を工夫していくことを考えていることを伝えました。

「おはようございます。」「こんにちは。」「さようなら。」「おやすみなさい。」など日々のちょっとしたあいさつからお互いのことを思いやり、だれもが気持ちよく過ごせる学校にしてきます。そのことがあたりまえになるよう、これからも皆様のお力添えをお願いいたします。